

6 月度木曜例会 (2012/06/07)

本日のスピーカーはMilos Debnar さん。Slovakiaから8年前日本に来ました。2年前の2月度木曜例会に続き久々の登場です。今日のタイトルが：**Contemporary family in Slovakia ; Demographic trends and comparison with Japan**と云うことですが、本論に入る前に先回の発表内容をレビューしてみましょう。彼、そしてスロバキアについて理解を深めた上で聞くと本日の内容がさらに興味深くなります。



先回の内容から抜粋

2 月度木曜例会 (10/02/04)

本日のゲストスピーカーはスロバキアからの MILOS さん。Y さんの紹介です。社会学者、京大博士論文のテーマは”The Age of Globalization and Life Strategies of New-coming Foreign Residents in Japan: Diversification of Migration patterns in the case of Slovaks and Czechs”です。1989 年の Velvet Revolution, 1993 年のチェコとの Velvet Divorce などは聞いた事がありますが日本人にとっては何となくなじみの薄い国ですね。ヨーロッパ観光コースでも何となく通過点の扱いみたいです。折角のチャンスですからこの際 Slovak とは、チェコスロバキアがなぜ分離したのだろうか、その地理、歴史、文化などについてじっくりと伺いましょう。



まずどこにあるのかは上の地図参照下さい。(省略) 大きさは北海道の約 6 割、人口はほぼ同じの 545 万人、首都は Bratislava(43 万人)です。彼の生まれ故郷は Ziar nad Hronom、のち Bratislava に移りました。

Bratislava's geographical position in Central Europe has long made Bratislava a crossroads for international trade traffic. Various ancient trade routes, such as the Amber Road and the Danube waterway have crossed territory of today Bratislava. Today Bratislava is the road, railway, waterway and airway hub.

そこからウイーンには車で 30 分、プラハ、ブダペストにも 2 時間で行けるそうです。

ではそもそも **Slovak** とは?The Slovaks are a western Slavic people that primarily inhabit Slovakia and speak the Slovak language, which is closely related to the Czech language.

The West Slavs are Slavic peoples speaking West Slavic



languages. Czechs, Kashubians, Poles, Slovaks, and Sorbs are the ethnic groups that originated from the original Western Slavic tribes.

Most Slovaks today live within the borders of the independent Slovakia (app 5mil.). There are Slovak minorities in the Czech Republic, Hungary, Serbia and sizable populations of immigrants and their descendants in the U.S. and in Canada. (app 2mil.) この国の人口構成、及び宗教は Slovak85%、Christian80%ですがスロバキアの魅力は、エスニックグループが仲良く暮らしていることです。ハンガリー人、ウクライナ人、ドイツ人、ポーランド人、チェコ人、クロアチア人、ロマ人、そしてユダヤ人などで、それぞれ様々な民俗的文化を誇っています。興味あることは、カトリック、プロテスタント、フス教徒、ユダヤ教徒、ギリシャ・カトリックなどの宗教が混在し、仲良く共存しています。

また他のヨーロッパの国々と同様に周辺諸国からの影響を数多く受け、国内のいたるところに数々のユニークな文化が受け継がれています。歴史的にスロバキア人とその国土は、外国人に長らく支配されても素朴に、柔軟に様々な文化と宗教、そして人々を受け入れてきたのでしょね。

訪れたことのある人いわく、スロバキアの女性は揃って美人だそうです。彼もそうだと断言していました。でも彼の奥さんは **Bratislava** で出会った日本女性。ということは彼女余程の美人か、それとも日本女性は平均するとスロバキア女性を超えているのか？

(さらに詳しくはホームページの本文でどうぞ)

今回のタイトルは社会学者として捉えた格調の高い内容です。それは1) **1989** 年社会主義体制から自由経済への移行、スロバキアのビフォア、アフターを家族と言う観点を通じ見てみよう。2)そしてそれらの内容を日本と対比してみたい。ディスカッションしませんか？と言うものです。さてどんな所に落ち着くのでしょうか。

CHANGES AFTER 1989

- How these macro changes are reflected in the daily life?
- Many spheres of daily life were greatly affected:
 - Employment
 - Schooling
 - Family ?
- Family is part of our intimate spheres of our lives and thought to be very stable.
- What remained stable and what has changed?

FAMILY DURING THE SOCIALIST ERA

- Rather traditional family
 - Higher fertility rate
 - Higher marriage rate
 - Lower divorce rate
- Two children, usually consecutively
- Women returning to work early after maternal leave and stay working
- People are getting married in a very young age
 - Men at 23.6 (1990)
 - Women 21.5 (1990)
- Very few children born to out of wedlock

FAMILY DURING THE SOCIALIST ERA

- “Triple start”
 - Adult life
 - Work life
 - Parent life
- High dependency on parents and other family members
- High consistency – one pattern was dominant
 - 75% of children born to very young mothers (20-24)

FAMILY TODAY

- Rather modern family
 - Low fertility rate
 - Low marriage rate
 - Higher divorce rate
- More one-child families
- People are getting married considerably older
 - Men at 28.9 (2008)
 - Women 26.3 (2008)
- Every third child born out of wedlock
- No “Triple start”
- Diversification of life patterns

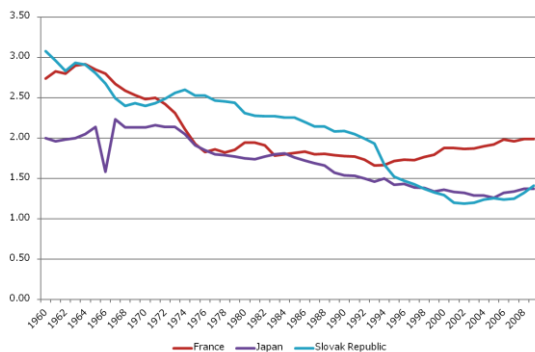
FAMILY VALUES TODAY

- Core values do not change (EVS 1991, 1999, 2008)
 - How important is family in your life? (no change, almost 90% very important)
 - Child needs a home with father and mother (no change, more than 90% agree)
 - Marriage as an outdated institution (only slight change, still 88% tend to agree)

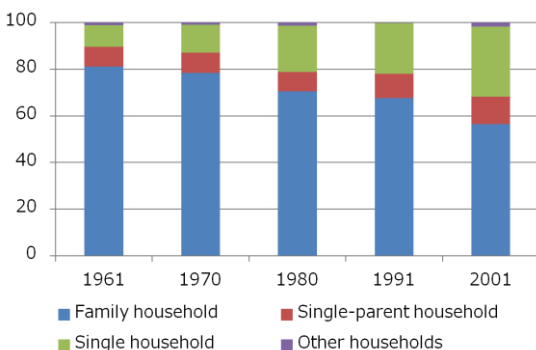
FAMILY VALUES TODAY

- Changing values regarding traditional lifestyle and gender roles
 - Husband and wife should both contribute to income – more agree
 - Pre-school child suffers with working mother – more disagree
 - Women want a home and children – more disagree
 - Job best way for women to be independent – more agree
- A shift towards more liberal and modern values

DECLINING FERTILITY



HOUSEHOLD STRUCTURE 1961-2001



SUMMARY

- Changes in the family and reproduction behavior reflect the character of social changes after 1989
 - Fast
 - Big
- From one dominant pattern to diverse family forms and strategies
- Still, not everything changes – family as a basic value remain stable, although its form is changing rapidly

Discussion

日本の家族は変わりましたか？

日本で家族とはどのような価値を持っているのでしょうか？

スロバキアの家族と比較して似ているところ、異なるところは？

家族の内容が次代と共に変わっていく際のポジティブ面、ネガティブ面について。

- 会員「今日のスピーチでは、若者の一人住まいが取り上げられていますが、老人の一人住まいはどうですか？」
 - G「昔はひいおじいちゃんやおばあちゃんも同居していたらしいですが、今は変わりました。一人住まいの老人の数は増えています。僕のおばあちゃんの子供は都会や町で住んでいるので、足が悪くなってからは。自分の村の施設にいます。友達も多く、子供達も訪問するので楽しく暮らしています。」
- 会員「結婚年齢が上がっているのは、若者が職に就けないため結婚したくても出来ない。」
 - G「スロバキアでは、自分から仕事を辞め自分の能力を発揮できるより高度な仕事に就く傾向にある。」
- 会員「日本で転職したら、次の仕事を見つけるのは難しい、またスキルアップできるように会社もサポートしてくれない。」
- 会員「職に就けないことは、結婚を遅らせている理由の一つであることは認めるが、高額所得がある若者も結婚を躊躇していると考えられる。結婚をすれば自由でなくなるし、特に女性の場合、家庭と仕事のバランスを取るのが難しいので結婚を躊躇している」
 - G「スロバキアでも同じことが問題となり、結婚年齢が上がっている。社会主義のときは保育所なども完備し無料だったが、今は有料で、保育所の数も足りない。」
- 会員「アンケートでは～家庭がとて～大事が～90%の人が答えているのに、グラフが示しているように実際は一人住まいや片親家庭が多い。この差はどうしてなのか？」
 - G「考えとしては、家庭が大事と判っている。しかし現実には個人個人が選択した生活がグラフに表れていると考えられる。」

6月26日（火曜日）から6月30日（土曜日）まで、スロバキア共和国大統領イヴァン・ガシュパロヴィチ閣下及び同令夫人は、随員と共に、公式実務訪問賓客として来日します。滞在中、天皇皇后両陛下は、同大統領及び令夫人と御会見になるほか、宮中午餐を催されます。また、野田佳彦内閣総理大臣は、同大統領と会談する予定です。（外務省）